

(8) 近畿



近畿地域では、景気は緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 個人消費は持ち直している。
- ・ 雇用情勢は改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(↑は上方に変更、↓は下方に変更)。

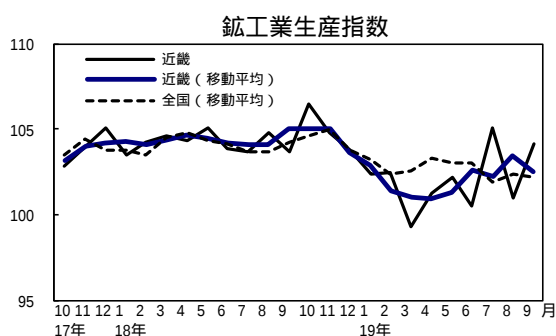
前回からの主要変更点

	前回(令和元年8月)	今回(令和元年11月)	
景況判断	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	緩やかな回復基調	↑
鉱工業生産	おおむね横ばい	持ち直しの動き	↑
雇用情勢	着実に改善	改善	↓

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は持ち直しの動きがみられる。

7 - 9月期には、化学は、増加した。電気・情報通信機械は、リチウムイオン蓄電池等が増加したことにより、増加した。汎用・業務用機械は、蒸気タービン部品等が増加したことにより、増加した。生産用機械は、半導体製造装置等が増加したことにより、増加した。輸送機械は、航空機用発動機部品等が増加したことにより、増加した。



(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。近畿の最新月は速報値。
2. 全国及び近畿の太線は中心3か月移動平均。
直近月は2か月平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		4 - 6 月期	7 - 9 月期	7月	8月	9月
化学	12.4	▲2.0	5.1	5.7	▲3.0	3.1
電気・情報通信機械	11.7	7.7	2.9	7.8	▲10.3	▲8.9
汎用・業務用機械	10.4	▲4.5	6.6	20.7	▲7.7	3.0
生産用機械	10.1	▲6.8	9.9	3.1	▲2.7	24.8
輸送機械	8.7	0.2	1.4	5.5	▲0.8	4.3
鉱工業	100	▲0.1	2.1	4.6	▲3.9	3.1

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 7 - 9月期、9月は速報値。

2. 個人消費の動向

個人消費は持ち直している。

(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

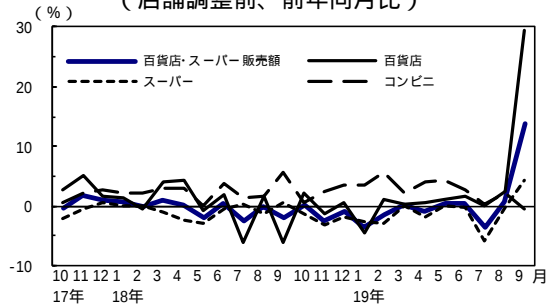
7月は前月比1.4%減、8月は同0.2%減、9月は同5.2%増となった。

(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、7月は、その他の商品等が好調だったことから、前年を上回った。8月は、紳士服・洋品等が好調だったことから、前年を上回った。9月は、婦人・子供服・洋品等が好調だったことから、前年を上回った。

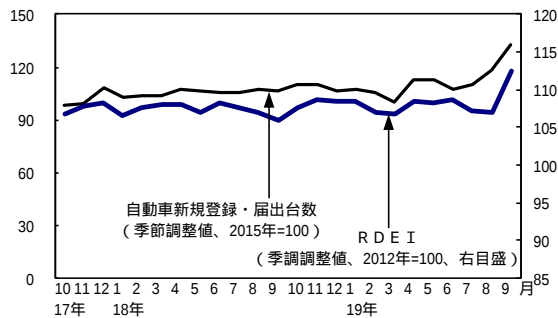
スーパーは、7 - 9月期は、飲食料品等が振るわなかったことを受けて、前年を下回った。

百貨店・スーパー販売額等
(店舗調整前、前年同月比)



	2019年7 - 9月	2019年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	0.4	▲1.4	▲0.2	5.2
百貨店・スーパー(*2)	3.3	▲3.5	0.8	13.8
百貨店(*3)	9.6	0.0	2.4	29.5
スーパー(*3)	▲0.7	▲5.9	▲0.2	4.2
コンビニ(*3)	0.7	0.2	2.2	▲0.5
乗用車(*4)	14.1	5.6	7.7	26.3
(季節調整値)(*4)	8.3	2.5	7.0	12.2

RDEI (消費) と自動車新規登録・届出台数の推移



(備考) 1. 季節調整済前期(月)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店、スーパー及びコンビニは、経済産業省の近畿(福井、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

3. 雇用情勢

雇用情勢は改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を下回っている。

